

【北陸新幹線と北陸の経済・社会シリーズ】

新幹線の経済・社会効果

～ 新幹線で動き出した福井市の街づくり ～

2022年2月

日本政策投資銀行 北陸支店

企画調査課・富山事務所

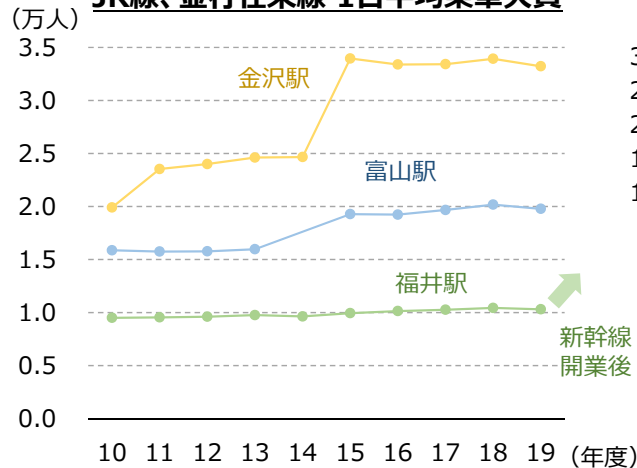
【要旨】

- 北陸3県では、2015年の富山、金沢に続き、福井でも24年春の新幹線開業に向けた準備が進む。開業により、3県の県都全てに新幹線が通る。
- 新幹線開業の経済効果は県単位で議論することが多かったが、北陸3県の新幹線駅は、富山県と石川県に3駅、福井県では4駅の合計10駅となる。県単位の議論だけではなく、新幹線開業による影響や街の変化については、各駅毎に肌理細かくみることが有益である。今回は、主に**福井駅（福井市）周辺に焦点**を当て、富山駅（富山市）や金沢駅（金沢市）の事例とも比較しながら、新幹線開業の効果について考察する。
- 新幹線の開業により、金沢や富山でも乗降客が大きく増加した。コロナ禍が終息すれば、同様に県都である**福井でも、乗降客の大幅増が期待**される。開業まで2年余りとなるなかで、乗降客の増加を街の活性化に繋げる取り組みが求められている。
- 新幹線計画は、1970年の全国新幹線鉄道整備法公布で動き出し、現在に至るまで50年以上の年月が経過している。各県の人口も減少に転じ、県の政治・経済の中心である各市でも、少子高齢化に対応した市内の二次交通のあり方や戦後復興期の社会インフラの老朽化など、**街づくりの課題**を抱えている。
- そうしたなかで、新幹線開業は、首都圏との往来の高速化など、新幹線の利用者にとっての利便性向上効果にとどまらず、新幹線駅の整備や在来線も含めた鉄道の高架化などにより、**各市の新たな街づくりの契機にもなった**。新幹線の開業は、新幹線に乗る人、来訪客の増加で潤う人にとっての恩恵が分かりやすいが、街づくりの進展への影響を考えると、その恩恵はもっと広く、新幹線にあまり乗らない人にも及ぶ。
- 福井市でも、新幹線の開業をゴールとするのではなく、**10年先やそのもっと先も見据えて**、来訪客の増加策や街づくりを進めることが重要ではないだろうか。

新幹線開業で、福井駅でも利用者数は大きく増加へ

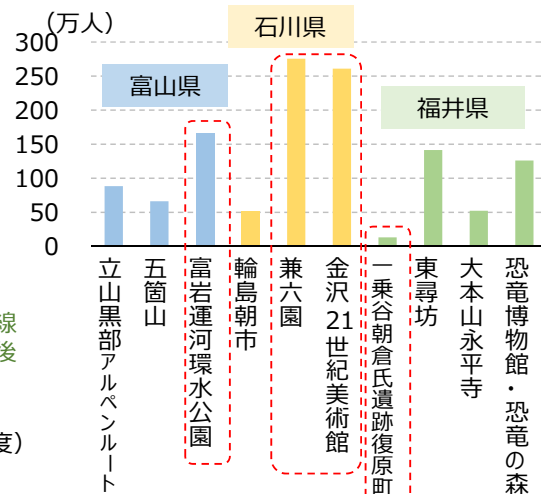
- 各駅の利用者数をみると、金沢と富山では15年の新幹線開業後に3～4割増加した。コロナ禍が終息すれば、新幹線開業後の**福井駅の利用者数は1日あたり3～4千人の増加**が期待される。
- 福井県内の観光地をみると、現在でも**東尋坊**や**大本山永平寺**、**恐竜博物館・恐竜の森**などに多くの人が訪れている。市内でも、市街地からは離れるが、一乗谷朝倉氏遺跡復原町並などが金沢などの史跡とも趣が異なり、潜在力が期待できる。**課題は、市中心部からのアクセス**だが、永平寺方面と合わせて訪問可能なシャトルバスなども運行されており、福井への来訪者への認知を高めることなどで、新幹線開業後の集客増に繋げたい。

JR線、並行在来線 1日平均乗車人員



備考・出典) 1. JR西日本、あいの風とやま鉄道、IRいしかわ鉄道
2. 1日平均、15年度以降の富山駅と金沢駅はJRと並行在来線の合計

各県の主要観光地入込数 (2019年度)



備考・出典) 1. 富山県、石川県、福井県資料
2. 赤枠の施設は、富山市、金沢市、福井市内に立地

福井市では、代表的な観光スポットは郊外や市外に立地

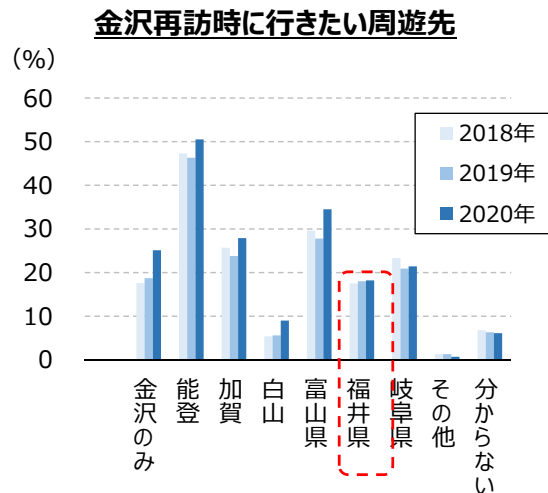
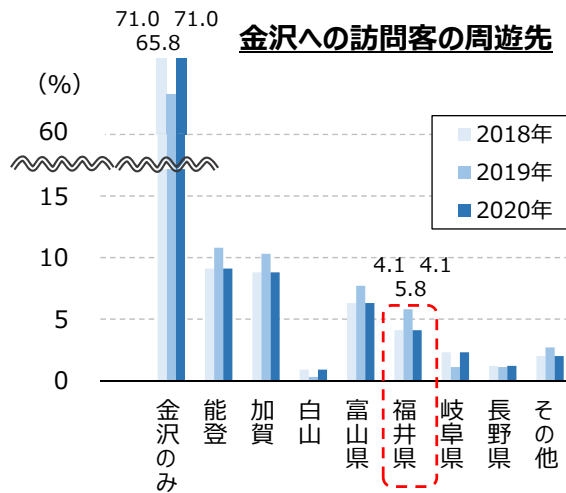
- 福井市では、16年にえちぜん鉄道と福井鉄道が直通運転を開始するなど、新幹線開業に向けた動きと合わせて、**通勤・通学者向けの二次交通の整備**が進んだ。
- 観光客向けの二次交通では、福井駅からの観光客向け直通シャトルバスの充実やえちぜん鉄道ダイヤの工夫など、**分かりやすく、効率的に観光地にアクセス出来る交通手段の充実**が、来訪客増加に効果的と考えられる。

富山市中心部 富岩運河環水公園 富山県美術館 富山城・郷土博物館 富山市ガラス美術館など	金沢市中心部 兼六園、金沢城公園、 ひがし茶屋街、長町武家屋敷跡、 近江町市場、妙立寺(忍者寺) 金沢21世紀美術館、鈴木大拙館、 国立工芸館など	福井市中心部 養浩館庭園、グリフィス記念館 自然史博物館分館(セレンブネット) など
市郊外 岩瀬や八尾の町並みなど	市郊外 湯涌温泉、金沢港・大野地区など	市郊外 一乗谷朝倉氏遺跡復原町並
市外 立山黒部アルペンルート 宇奈月温泉・黒部峡谷 五箇山・白川郷、瑞龍寺など	市外 和倉温泉、輪島朝市、千里浜なぎさ ドライブウェイ、山代・山中・片山津温 泉、那谷寺など	市外 大本山永平寺、東尋坊 恐竜博物館、丸岡城 氣比神宮、あわら温泉など

備考・出典) DBJ作成

観光面では、金沢からのトリクルダウンの取り込み、または差別化が重要

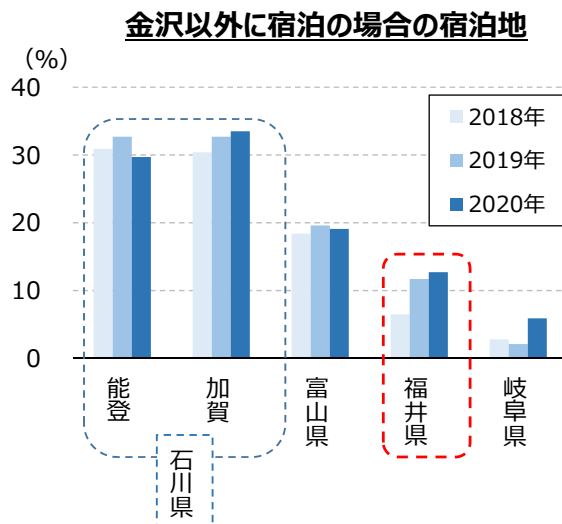
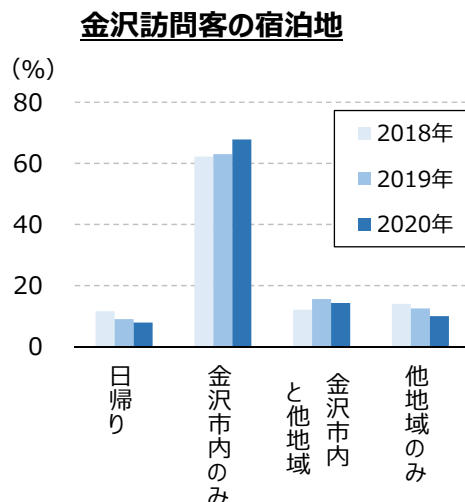
- 北陸3県の観光では、金沢市の集客力が頭ひとつ抜けることから、これから新幹線が開業する福井の観光振興には、金沢からのしみ出し（トリクルダウン）の取り込みまた差別化が鍵になると考えられる。現状、金沢訪問客の7割が金沢のみを訪れており、**金沢以外への周遊は限定的**であり、改めて周遊観光の喚起に期待がかかる。
- 福井県の観光地では、永平寺は建物の価値にとどまらず、禅文化の象徴として無二の施設である。禅文化の体験などは、国内外の富裕層などにも関心の高い層がありそうだ。恐竜博物館も、大規模に恐竜について学べる施設は全国的にも珍しく、子供連れだけでなく、大人だけでも行く価値がある。福井には、**福井の人が思っている以上に魅力的な観光スポット**があり、その魅力の発信にもっと取り組むべきだと思われる。



備考・出典) 金沢市「金沢市観光調査」

金沢訪問客の一定割合が、福井でも宿泊

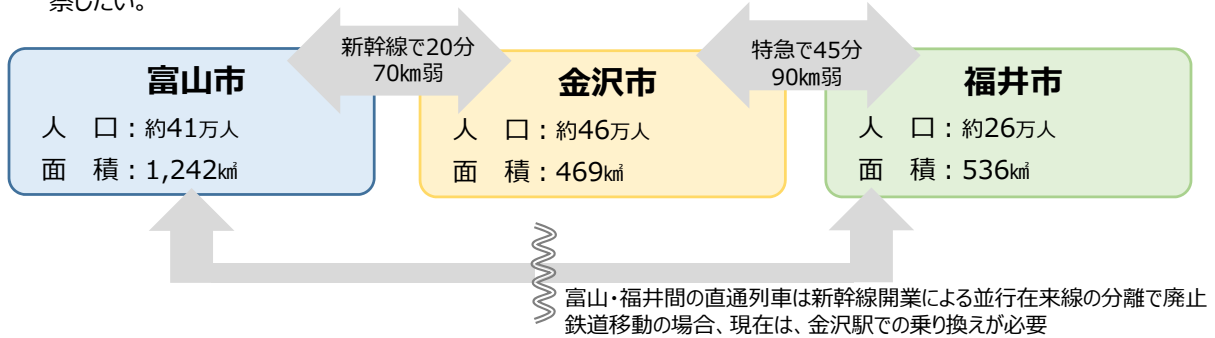
- 金沢訪問客の宿泊状況をみると、新幹線開業後、金沢で宿泊施設が大幅に増加したこともあり、6割の訪問客が金沢市内で宿泊している。
- 金沢外での宿泊では、一定数が県外にも宿泊している。福井県ではあわら温泉に宿泊施設の集積があり、芦原温泉駅が新たに新幹線の停車駅となることから、あわら市などとの連携も重要だと考えられる。



備考・出典) 金沢市「金沢市観光調査」

北陸新幹線と3市の街づくり ～ 観光と二次交通の観点から ～

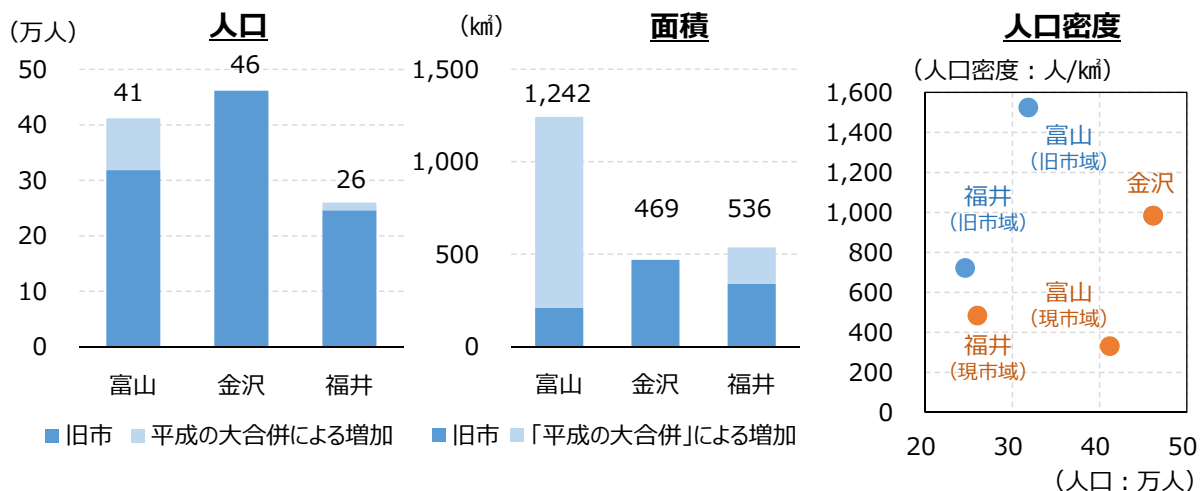
- 3市は、それぞれ富山藩、加賀藩、越前藩の**城下町**として発展した。現在の各市の特徴をみると、福井と富山は**工業都市**という印象が強い一方、金沢は**観光・商業都市**という印象が強い。
- 以下では、**北陸新幹線開業を巡る動き**と合わせて街づくりがどのように進んだか、二次交通などの観点を中心に考察したい。



- | | |
|--|---|
| <p>富山市</p> <ul style="list-style-type: none"> ● どちらかというと工業都市
(富山では製薬、福井では繊維が有名) ● 戦災などで大きな被害、戦後復興が現在の街の原型 ● 市内に路面電車が運行 ● 県の主要観光地は郊外や市外に位置 | <p>金沢市</p> <ul style="list-style-type: none"> ● どちらかというと観光・商業都市
(富山や福井からの買い物客も多い) ● 戦災を免れ、昔の町並み、文化が残る ● 路面電車は1960年代に全廃
(市内の交通渋滞で維持出来ず) ● 市中心部に多数の観光地が立地 |
|--|---|

福井市の人口は3市のなかで最小、人口密度も低め

- 福井市の人口は約26万人で、3市のなかでは最小である。人口密度でも、いわゆる平成の大合併前の旧市域をみると、福井は、富山や金沢よりも低い。
- 人口が少なく、密度も低いことから、福井市では、富山市や金沢市と比べると、二次交通の運行本数や多様な路線を設定することが相対的に難しい点が課題と言えそうだ。



備考・出典) 1. 各市統計より作成、人口は21年11月時点の推計
2. 旧市は、合併前の旧富山市、旧福井市。金沢市は、いわゆる「平成の大合併」を行っていない

市内の二次交通は、市民向けと観光客向けで利用時間帯も課題も異なる

利用者	地元市民	観光客
目的	通勤、通学、買物、通院など	観光地への移動
主な利用者	高齢者、学生、自動車運転が出来ない人	地域の土地勘がない人（年齢、国籍など多様）
主な移動手段	路線バス、コミュニティバス 路面電車、ローカル鉄道 タクシー、レンタサイクル	市内周遊 ：周遊バス、路線バス、路面電車、 レンタサイクル、タクシー 市外の観光地 ：鉄道（新幹線、特急、ローカル便）、 観光地へのシャトルバス、レンタカー、観光タクシー
移動区間	住宅地 ← → 市中心部など	駅 ← → 観光地 ← → 観光地
利用時間帯	平日（特に朝夕）	休日（主に日中）
利用促進・ 利便性向上策	- 利用しやすい料金設定 - 一定の運行頻度の設定 - 各交通手段間の接続の良さ（ダイヤ設定や料金面など）	- 新幹線駅などの拠点からの接続の良さ - ニーズを踏まえたルート設定 - 土地勘のない人にとっての分かりやすさ（乗り場案内の工夫、行き先案内、スマホアプリなど） - 域外の観光客でも使いやすい支払いツールの導入（1日周遊券、交通系ICカード、スマホアプリなど）
課題	少子高齢化などによる利用者数の減少	- 季節や曜日による利用者数の変動の大きさ - 中長期的な需要見通しの難しさ
行政支援の要件	交通弱者の移動手段確保などの公共性 - 渋滞緩和などの外部効果	観光客の来訪による地域経済への波及効果（支援のハードルは、地元市民向けよりも厳格）

（出所）DBJ作成

福井市の観光客向け二次交通では、えちぜん鉄道や観光シャトルバスが有望

- 福井市の二次交通をみると、住民（市外からの通勤通学者を含む）向けが多い。
- 観光客向けでも、**各観光地に直接アクセス出来るシャトル便**や東尋坊や勝山方面に路線が延びる**えちぜん鉄道**などがあり、車を運転しない人にも利用しやすい。各交通機関同士の乗り換えがしやすいダイヤを設定するなどし、現状のインフラを出来るだけ活用し、分かりやすい案内などで、観光客の誘客に繋げていきたい。

		富山市	金沢市	福井市
バス	市内路線	地鉄バス（富山地方鉄道） 住	北鉄バス（北陸鉄道） 住 観 西日本JRバス、加越能バス	京福バス 住
	コミュニティ	まいどはや（市中心部）など 住	金沢ふらっとバス、まちバス 住 観	すまいる（市中心部）など 住
	観光地 シャトル便	白川郷、高山行き 観	五箇山、白川郷、高山 観 輪島、能登 行き	永平寺ライナー、 恐竜バス（恐竜博物館） 一乗谷朝倉特急バス 観
	市内周遊	富山市内周遊ぐるっとBUS 観	城下まち金沢周遊バス 観 観光バス：能登、白山方面	
鉄道	軌道	富山軌道線、富山港線 住	—	福井鉄道：福武線 住
	JR線 在来線	あいの風とやま鉄道（並行在来線） JR高山線 住	IRいしかわ鉄道（並行在来線） 住 JR線：北陸線、七尾線 観	JR線：北陸線、越美北線 住
	私鉄線	富山地方鉄道： 住 観 本線、不二越線、上滝線、立山線	北陸鉄道： 住 浅野川線、石川線	えちぜん鉄道： 住 観 勝山永平寺線、三国芦原線
レンタサイクル		アヴィレ（23ヶ所） 住	まちのり（69ヶ所） 住 観	ふくчыり（15ヶ所） 住

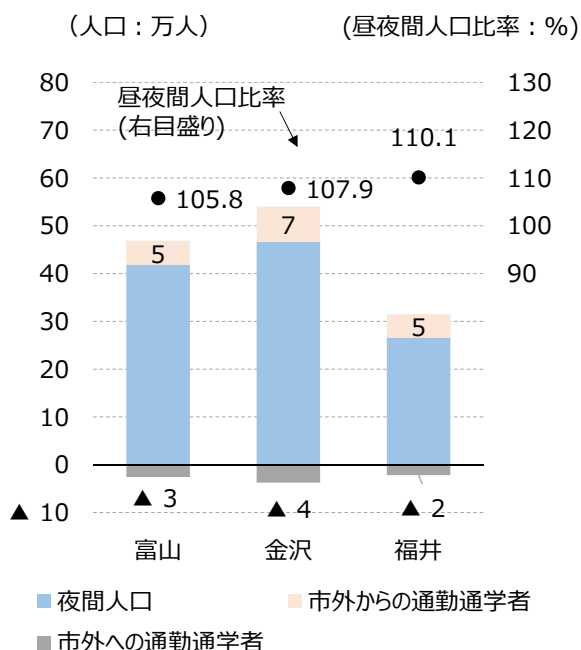
（出所）DBJ作成

観：どちらかと言えば観光客向け

住：どちらかと言えば住民向け

3市には、市外から多数が通勤・通学

昼夜間人口比率

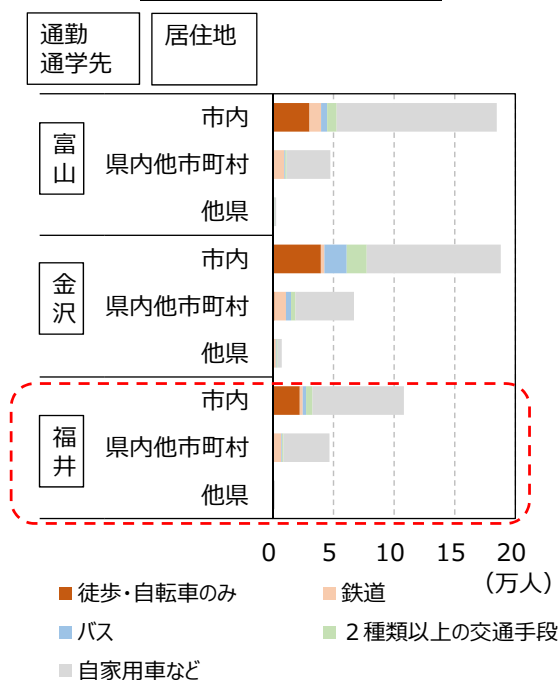


備考・出典) 1. 総務省「2015年国勢調査」
2. 昼間人口＝夜間人口＋市外からの通勤通学者－市外への通勤通学者
昼夜間人口比率＝昼間人口÷夜間人口

- 県庁所在地である3市はいずれも中核市に指定されており、県の経済、文化の中心都市である。市外の学校や勤め先に通勤・通学する人口よりも、**市外から市内にやってくる人の方が多い**、昼夜間人口比率は、3市とも100%を上回る。
- 各市の人口規模は、それぞれ県内で最も大きく、市内に在住し、市内の勤め先・学校に通勤・通学する人も多い。
- 通勤・通学者の**二次交通の利便性向上**については、**北陸新幹線開業**のための新幹線駅などの高架化工事に伴って、福井と富山では、路面電車のインフラ面で、福井駅や富山駅を中心に大きく改善した。
- また、福井や富山で異なる路線間での直通運転などが行われるようになるなど、利用者の利便性が、この10年程度の間で、大きく向上した。

福井では、市外からの通勤通学者が鉄道を利用

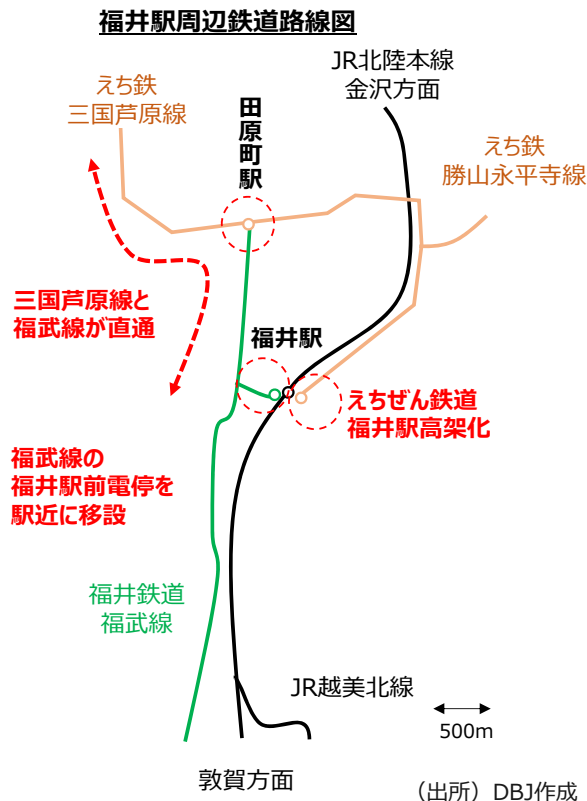
通勤・通学先と交通手段



備考・出典) 総務省「2015年国勢調査」

- 福井市内**の通勤・通学をみると、**自家用車と、徒歩・自転車**による人が殆どで、公共機関を利用する人は少ない。一方、**県内の他市町村からの通勤通学**では、**鉄道利用者**が一定数いる。JR線のほか、えちぜん鉄道や福井鉄道を利用する学生などが多いものとみられる。
- 16年に実現した**えちぜん鉄道と福井鉄道の直通運転**は、県民の生活利便性向上に資する取り組みと言える。
- なお、2015年時点（新幹線の富山・金沢開業年）では、各市とも**県外からの通勤・通学者**は、県内からと比較して、非常に少ない。
- 北陸3県では、3県全体を事業エリアとする企業も多く、大学も立地する。就職や異動、進学で県外に引っ越した人も多いとみられるが、新幹線が福井・敦賀まで開業すると、時間的には**北陸3県内は、通勤・通学が可能なエリア**となる。
- 新幹線による通勤・通学**は、乗車運賃などの面でハードルが高いかもしれないが、引っ越しを望まない3県の県民にとっては、就職や進学の選択肢が広がる。

福井では、えち鉄と福鉄の直通運転などが実現



- 福井市内では、近年、えちぜん鉄道や福井鉄道の利便性向上の取り組みが大きく進展した。
- 特にえち鉄福井駅の高架化や福武線福井駅前電停の移設は、新幹線工事とこれに伴う福井駅前の再開発がなければ、実現しなかった（あるいはもっと時間がかかった）可能性が高い。福武線と三国芦原線の相互乗入も、新幹線開業を見据えた鉄道交通ネットワーク強化の一環とみることができる。

【えちぜん鉄道】

02年 京福電鉄より事業譲渡を受けて、えちぜん鉄道発足
前年の列車衝突事故後の運行停止などで陥った存続の危機を回避

15年 北陸新幹線の高架を利用して、福井駅高架を仮開業

18年 福井駅専用高架が完成し、正式開業

【福井鉄道】

16年 福井駅前電停を福井駅近に移設、乗り換え利便性向上（駅前再開発事業「ハビリン」と一体して実施）

【えちぜん鉄道・福井鉄道共通】

16年 田原町駅で福武線と三国芦原線の相互乗入開始
福井市と周辺各市との交通ネットワークを向上

（参考）富山市でも路面電車網による二次交通の整備が進展

- 鉄道による二次交通では、富山市で計画的な整備が進んでいる。従来、路面電車が走行していなかった駅北側で富山港線のLRT化、市中心部の駅南側の富山軌道線の環状運転、富山軌道線と富山港線との一体運行化（南北接続）が15年あまりをかけて、完了した。
- 富山市の動きも、新幹線開業に伴う富山駅の連続立体交差化工事を踏まえて進められた。新幹線の開業に向けた動きが、取り組みを後押ししており、その恩恵は、新幹線をあまり利用しない市民、県民にも及ぶ。

富山軌道線

- 富山駅南側、県庁や市役所などが所在する市中心部、全長7.6km（全て併用軌道を走行）
- 09年12月に丸の内～西町間が開業し、環状運転を開始

富山港線

- 富山駅の北側、全長7.7km（併用軌道部分と専用軌道部分がある）
- 北陸新幹線建設と在来線を含めた富山駅の高架化が決まり、富山軌道線との相互接続が具体化
- 06年3月までは、JR西日本が運行。第三セクターの富山ライトレール(株)に移管し、LRT化
- 20年3月：軌道線との相互乗り入れ開始。富山軌道線と一体的に運行（南北接続）
- 富山ライトレールは軌道線を運行する富山地方鉄道が吸収合併。軌道施設は富山市が保有し、富山地方鉄道が運行する上下分離方式
- 終点の岩瀬浜は、かつて北前船の寄港地として栄えた地域で、現在も当時の面影を偲ばせる古い町並みが残っており、富山市は、観光地としての売り込みに力を入れている

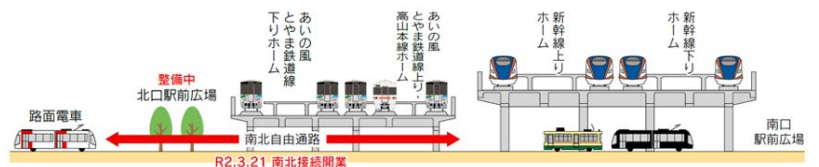
(参考) 富山市でも路面電車網による二次交通の整備が進展



富山軌道線と富山港線は、直通運転を行い、**一体運行**
運賃は、大人210円、小人110円の**均一運賃**
平日日中で約20分間隔、休日日中は約15分間隔で運行



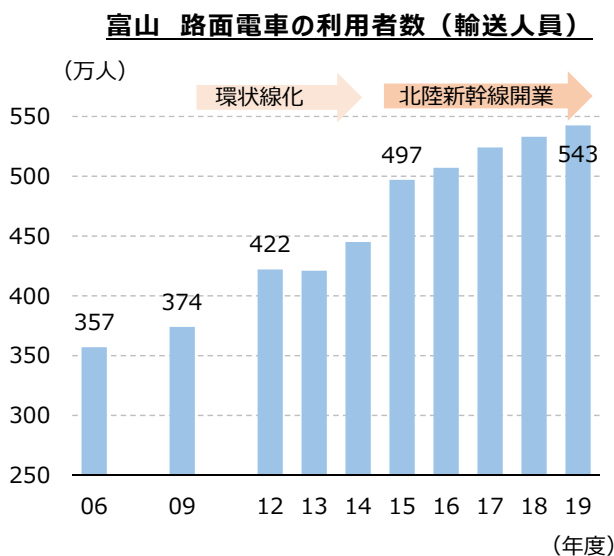
南北接続立体図



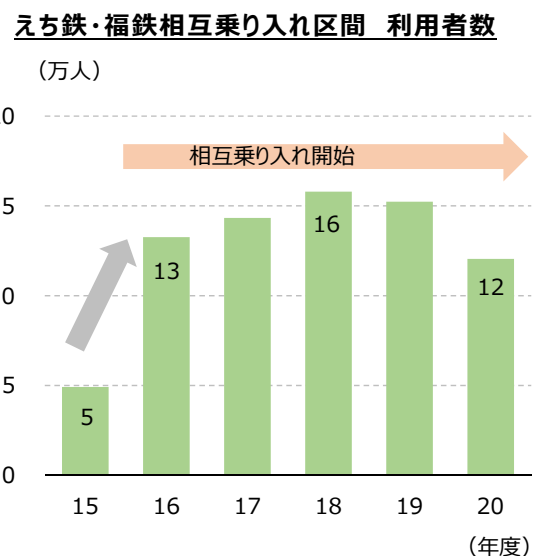
(出所) 図は富山県資料より

富山、福井ともに路面電車の利用者数が増加

- 福井市では、えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れで、利用者の利便性が向上し、相互乗り入れ区間では利用者が大幅に増加している。
- 富山市でも、環状線化や北陸新幹線開業による来訪者の増加により、路面電車の利用者数が大幅に増加しており、両市の取り組みは、利用者の利便性向上に大きな効果があったと言える。

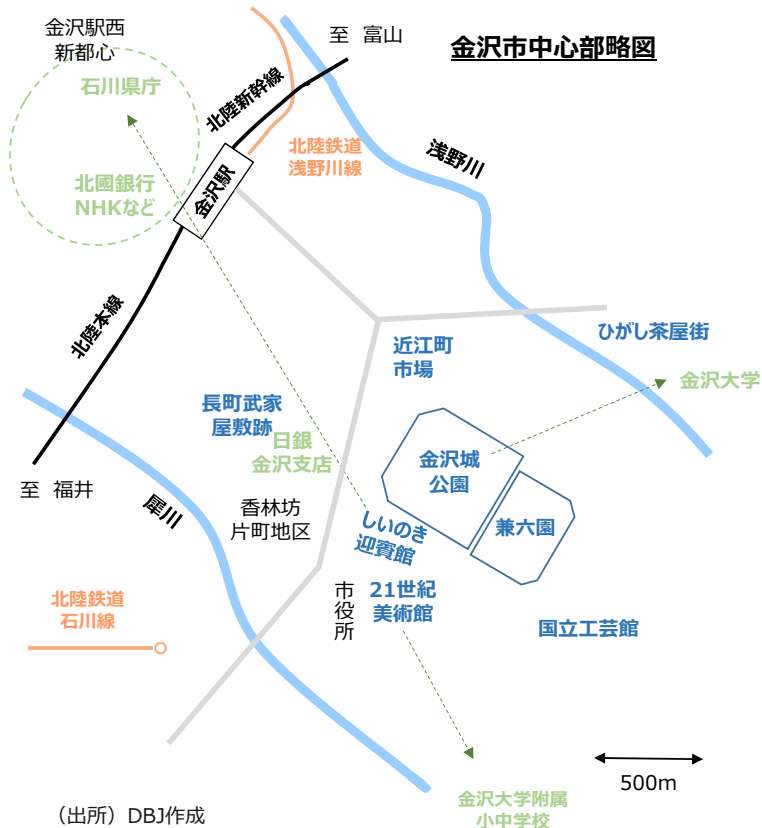


(出所) 富山県統計年鑑等より作成



(出所) 福井市地域交通課資料より作成

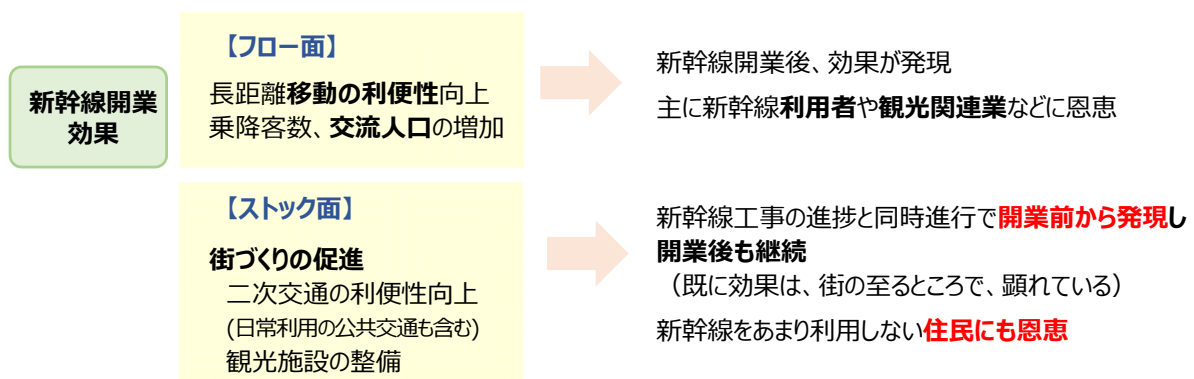
(参考) 金沢市では、観光地の整備と経済拠点の再整備が進行



- 金沢では、戦災などを免れたことで、貴重な史跡が多く残る一方、道路渋滞などの深刻化などで市中心部での路面電車は1960年代に廃止されている。
- 福井や富山とは対照的に、二次交通のインフラ面での目立った動きはない一方、企業や金融拠点の金沢駅周辺などへの移転・集積が進んでいる。
- 新幹線の開業で、金沢駅周辺のビジネス拠点としての利便性が一層高まり、建物の老朽化などで、各機関の駅西部への移転が相次いだ(石川県庁、北国銀行本店、NHK金沢支局、日本銀行金沢支店(23年秋予定)など)。
- 街の中心部にあった跡地は、金沢城公園、21世紀美術館、しいのき迎賓館など、文化や観光の拠点として整備された。金沢城内の玉泉院丸庭園の整備や国立工芸館の誘致などで、市内の観光スポットが一層充実している。
- 中心市街地の空洞化を課題とする地方都市は多いが、金沢では、新幹線開業で市中心部に魅力的な観光拠点が一層集中し、新幹線開業を観光客の来訪増加、街の賑わいに繋がっている。

新幹線開業を控えた福井市への示唆

- 新幹線開業は地域にとって大きな契機となるが、新幹線開業は国体の開催のような一過性のイベントではなく、開業による波及は、その後もずっと続く。
- 富山市では、軌道線と富山港線の直通運行開始は、新幹線開業5年後の20年3月となった。新幹線開業に合わせず、無理のない計画で進めたことで、現在の富山駅は、デザイン性でも、乗り換えの利便性などでも優れた駅となった。金沢市では、新たに金沢城二の丸御殿の復元整備が決まるなど、観光拠点整備の街づくりが今も続く。
- 福井市でも、新幹線が開業する2023年春をゴールとするのではなく、10年先やもっと先を見据えて、新幹線を活かした街づくり、二次交通の整備を続けていくことが重要ではないだろうか。開業を「100年に一度のチャンス」とする意気込みも大切だが「100年続く大転換点」と捉え、今後の街づくりに繋げることで、開業効果をより大きくすることが出来ると考えられる。



(出所) DBJ作成

(付表) 3市の歩みと北陸新幹線① ～フル規格化、着工までの経緯～

年代	北陸新幹線	福井市	富山市	金沢市
1945年～		45年 福井空襲 48年 福井地震	45年 富山空襲	
1960年～	67年 北回り新幹線建設促進 同盟会結成		両市で被災からの復興が現在の街の原型に	
1970年～	70年 全国新幹線鉄道整備法公布 72年 基本計画決定	北陸新幹線の構想が具体化		
1980年～	82年 整備新幹線計画見合わせを閣議決定 87年 新幹線建設の凍結を解除 国鉄民営化、JR発足 89年 高崎～軽井沢間着工	北陸新幹線の計画が再スタート		80年 金沢駅が高架化着工 89年 金沢大学が郊外への移転を開始
1990年～	92年 軽井沢～長野間着工 97年 高崎～長野間開業 98年 長野～上越間着工 98～99年 長野から福井県内の区間をフル規格に変更	96年 福井駅周辺連続立体交差化事業起工	97年 富岩運河環水公園開園	90年 金沢駅高架化竣工

備考) 1. 各市や北陸新幹線建設促進同盟会の資料を基に、当行作成
2. 北陸新幹線の駅名は、開業前の仮称。開業後の正式名称と異なる場合がある

(付表) 3市の歩みと北陸新幹線② ～富山、金沢開業までの動き～

年代	北陸新幹線	福井市	富山市	金沢市
2001年	上越～富山間着工	京福電鉄越前本線衝突事故、前面運休	路面電車を中心とした市内の二次交通整備が始動	市中心部での観光拠点整備が本格化
02年		京福電鉄より事業譲渡、えちぜん鉄道（えち鉄）発足		
03年		福井でも新幹線開業を見据えた動きが始動	JR富山港線のLRT化決定	県庁舎を金沢駅の西側地区の鞍月に移転
04年				金沢21世紀美術館開館
05年	金沢～富山間着工 福井駅部先行着工	新幹線開業を踏まえ、えち鉄福井駅高架化着工	周辺の7市町村が合併し、現富山市が発足	金沢駅に鼓門ともてなしドーム完成
06年		周辺の4市町村が合併し、現福井市が発足	富山港線を引継ぎ、富山ライトレールが運行開始	
09年	福井駅高架部竣工	えち鉄により新幹線高架部の暫定利用開始	富山軌道線で環状運転開始、LET車両を導入	
10年			富山駅新幹線駅舎着工	旧県庁舎を利用し、しいのき迎賓館開館
12年	金沢～敦賀間着工			DBJ北陸支店が金沢駅西側の広岡に移転
14年				北國銀行本店が金沢駅西側の広岡に移転

(付表) 3 県都の歩みと北陸新幹線③ ～福井・敦賀開業に向けた動き～

年代	北陸新幹線	福井市	富山市	金沢市
15年	長野～金沢間開業 敦賀開業を3年前倒しし、 23年春に決定		富山市ガラス美術館 開館	
16年	敦賀～新大阪間のルート が小浜京都ルールに決定	えち鉄と福井鉄道の相互 乗り入れ 開始 駅西口に再開発ビル、 ハピリン開業		
17年			富山県美術館 開館	
18年				NHK金沢支局が金沢駅 西側の広岡に移転
20年	敦賀開業予定を24年春 頃に1年延期	福井銀行が新本店ビルで の業務を開始	富山軌道線と富山ライト レールの 直通運転（南北 接続） を開始	日本銀行金沢支店が金沢 駅西側の広岡への移転を 発表 金沢港クルーズターミナル 開業 国立工芸館 開館
24年	金沢～敦賀間開業予定			

備考・出典) 1. DBJ作成、
2. **赤**は新幹線関連の主要項目、**青**は街づくり、二次交通関連、**緑**は観光拠点関連

【お問い合わせ先】

(株)日本政策投資銀行 北陸支店 企画調査課

TEL : 076(221)3216

e-mail : hrinfo@dbj.jp

©Development Bank of Japan Inc.2022

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。